

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	化学物質による緊急の危害対策を支援する 知識情報基盤事業費		担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所		作成責任者		
事業開始・ 終了(予定)年度	平成13年度		担当課室	総務部会計課		渡邊 裕一		
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計画、 通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	大規模な化学物質事故や化学物質テロに対応するため、有害化学物質のヒト健康影響に関する情報を収集分析し、効率的な情報発信及び検索システムを構築することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<p>緊急時の化学物質安全性に関わる全ての関係者(医療・公衆衛生関係者、行政担当者、企業担当者)に対し、化学物質に起因する緊急危害対応に必要な情報の収集・蓄積・評価を行うと共に、これらの情報を、関係者が必要な時に迅速かつ容易に活用できるようにホームページで提供する。</p> <p>1)有毒物質の毒性、物性、被害事例等に関する国内外の情報の収集・調査を行う。 2)米国AEGL(急性暴露ガイドライン濃度)情報の翻訳・編集・蓄積と効率的活用法に関する研究を行う。 3)毒物劇物取締法データベース等のデータ更新及び管理を行う。</p>							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算の 状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	10	9	9	9	9	
	執行額	10	9	9				
	執行率(%)	100%	100%	100%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
	ホームページの毒劇物関連サイトへの年間アクセス数	成果実績	アクセス数	約10万件	約10万件	約10万件	約10万件	
		達成度	%	100%	100%	100%		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	毒劇物の新規評価物質の評価文書の作成。 また、毒劇物約500項目以上のデータベースの更新。	活動実績	新規評価文書数 (総ページ数)	8 (約800ページ)	8 (約800ページ)	8 (約800ページ)	8 (約800ページ)	
		(当初見込み)		(8)	(8)	(8)	(8)	
単位当たり コスト	—		算出根拠	化学物質の毒劇物妥当性評価には専門的知識が要求され、その作業を進めるには多くの背景資料・情報を収集、調査、評価、解析する必要がある。そのため、単位あたりのコスト計算は困難である。				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	試験研究費	9	9					
	計	9	9					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・本事業は、大規模な化学物質事故や化学物質テロに対応するため、有害化学物質のヒト健康影響に関する情報を収集分析し、効率的な情報提供を行うものである。有毒物質の毒性、物性、被害事例等に関する国内外の情報の収集・調査、及び毒物劇物取締法データベースで行っている毒劇物に関する情報提供やその評価は、法令を順守した有害物質の安全な取り扱いにつながり、法令違反や事故の軽減など公衆衛生に資するものである。これらの質の高い業務を少人数で効率的かつ継続的に実施している。</p> <p>・執行管理表により支出先及び使途等について管理を行い、経費の適切な執行に努めている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>化学物質による緊急の危害対策を支援する知識情報基盤事業費について、恒常的に多額の不用が生じているわけではないものの、執行実態を精査のうえ効率化を図ること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>事業実績を踏まえ、事業に必要な経費を精査し、消耗品費の見直しを行った。 (反映額:▲0.2百万円)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

国立医薬品食品衛生研究所
9百万円



【一般競争入札】

A WDB(株)
7百万円

〔試験研究業務及び事務補助等のための人材派遣業務〕

事務費 2百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.WDB(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	試験研究業務及び事務補助の人材派遣業務	7			
計		7	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	WDB(株)	試験研究業務及び事務補助等のための人材派遣業務	7	1	83.2%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					